

ネットワーク/トランジット

海外拠点のICT環境整備

中国拠点との通信が遅い！ 切れる！ 何とかできない？ 中国インターネット事情とグローバルVPN構築術

「中国からインターネットVPNで日本に接続できない！」昨今、このような声は珍しくありません。さまざまな業務がネットワークを介して行われている現在、通信トラブルは、業務継続に大きな支障を及ぼします。そこで、インターネットVPNがつかまらない理由や、解決策について考えていきます。

中国ではネットワーク回線の混雑に加え、検閲による通信遮断が発生

人件費が高騰したことで、以前のような生産拠点としてのメリットが薄れた一方、市場としての魅力を高めつつある中国。実際、製造業に加え、流通業や小売業が現地での販売を目的に進出する企業が目立っています。

ただ、実際に中国に拠点を置き、ビジネスを遂行するうえで課題となることが多いのは、インターネット環境です。たとえば「日本と比べて通信が遅い」、「利用できないインターネットサービスがある」、「日本拠点との通信に利用しているインターネットVPNが使えないときがある」といった不満の声です。

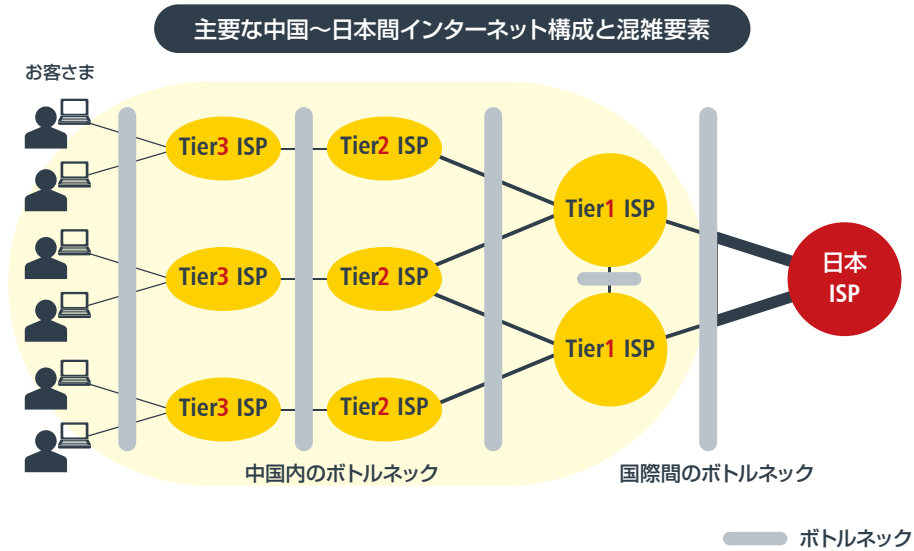
その背景にある理由の1つとしてまず挙げられるのが、中国政府によるインターネット情報検閲システムである「グレートファイアウォール(金盾)」です。これはインターネット上の通信を監視するためのものであり、Googleの各種サービスやFacebookなど、特定のWebサイトやサービスへのアクセスはブロックされてしまいます。

インターネットを利用した通信が遅い原因として、グレートファイアウォールによるトラフィック監視処理であると言われていますが、中国の海底ケーブルの陸揚げ局(海底ケーブルと地上のケーブルを接続する拠点)が北京と上海、広州の3拠点に絞られているとされていることで、海外と通信するための帯域を増強しづらい事情もあるようです。また、たびたび起こるグレートファイアウォールによるものと思われる通信遮断も、中国国内キャリアのコントロール範囲外のため、これらの問題を回避できないと言われてしています。

また、中国国内のネットワーク品質も決して良好とは言えません。中国でインターネットサービスを提供するISPはTier1からTier3に3階層に分かれていますが、それぞれのISPを接続する回線が混雑してボトルネックとなっており、ユーザー拠点とISPを接続するアクセス回線の品質が低いことも問題となっています。これらの問題を回避するためには、アクセス回線にインターネットを利用しないVPNサービスの利用を検討すべきです。

<参考>中国におけるインターネット品質の現状

- 1 日中間のインターネットは、**回線が細いこと**、および中国での関門島が北京、上海、広州の3つしかないことなどの原因により、非常に遅い状況が続いています。
- 2 中国国内部分も①Tier1のISPでもCT/CU間での**ボトルネック**、②Tier2以下の**混雑**、③**お客さま宅からのアクセス回線の低品質**などによりボトルネックが発生しています。



中国における規制強化とインターネットVPNへの影響

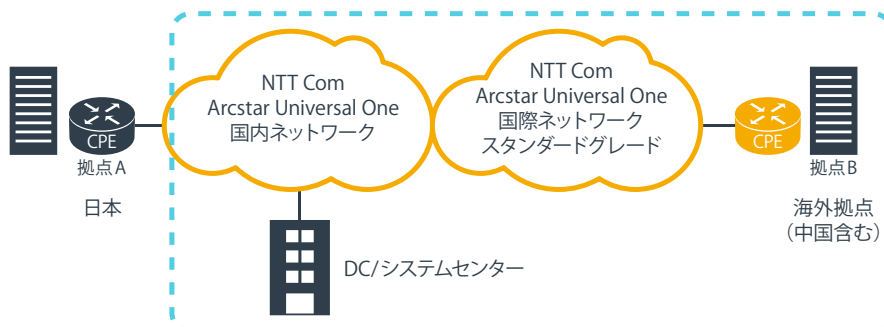
しかしながらVPNも、2017年12月、大手経済紙でも取り上げられた「VPN規制」と呼ばれる問題があります。発端となったのは、中華人民共和国工業情報化部による「インターネット接続サービス市場の規範整備の通知」です。この中でVPNに対する規制も盛り込まれていました。

日本拠点との通信を確実に行うのであれば、中国政府から正式に認定を受けた、NTTコミュニケーションズが提供するインターネットVPNおよびクラウドVPNサービスの「Arcstar Universal One」なら安心です。正式ライセンスを保有するパートナーを介してサービスを提供しているため、中国政府の規制に抵触することはありません。

国内Arcstar Universal One+海外インターネットVPN (IP Sec) を構築・運用しているお客さま

Standard Grade

➡ Arcstar Universal Oneで国内・国際シームレスに閉域網で接続しNTT Comへ任せませんか？







- End to Endで閉域網接続のためセキュアな通信が可能
- 全世界の回線とマネージドルーターの一元提供
- 高品質なサービスとオペレーション(グローバル一元保守・ピリング)

中国を含めたグローバル全体で安心して利用できるArcstar Universal One

NTTコミュニケーションズの「Arcstar Universal One」は、「Premium」、「Business」、「Standard」、「Light」の4つのシンプルなプランから選択できるVPNサービスです。「Standard」以上のプランなら、帯域確保型のアクセス回線が提供され、さらに「Business」以上なら、バックアップ回線も標準で提供されます。また本社拠点は「Premium」、中国拠点は「Standard」などと拠点ごとにプランを選択することも可能です。

Arcstar Universal Oneグローバル回線メニューのご紹介

	サービス コンポーネント			SLA*	利用シーン
	ネットワーク構成	メイン回線	バックアップ回線		
Premium		Dedicated Access	Dedicated Access	99.99% (バックアップ回線込)	本社・データセンターなどの大規模重要拠点
Business		Dedicated Access	Dedicated Internet Access Broadband Internet Access Cellular Internet Access	99.95% (バックアップ回線込)	重要拠点
Standard		Dedicated Access	バックアップなし	99.99% 99.7% 99.5% 99.0% (地域により異なる)	中・小規模拠点
Light		Dedicated Internet Access Broadband Internet Access Cellular Internet Access	バックアップなし	98% 96% 95% 90% (地域により異なる) なし	小規模拠点

※拠点単位での稼働率SLA

- ・ Dedicated Access : 帯域確保型アクセス
- ・ Dedicated Internet Access : インターネットを介するベストエフォート型アクセス(ラストワンマイルは帯域確保)
- ・ Broadband Internet Access : インターネットを介するベストエフォート型アクセス
- ・ Cellular Internet Access : 3G網を利用したベストエフォート型アクセス

「Arcstar Universal One」は、中国を含めた190以上の国・地域で利用可能であり、グローバル全体で利用できることが大きな特長であり、多くのお客さまに選ばれるポイントにもなっています。グローバルに展開されるお客さまにとって、多言語での問い合わせや一元保守に対応できるのも心強いところ です。

中国拠点におけるネットワーク信頼性の向上や、グローバル全体でのITインフラ強化に、「Arcstar Universal One」をぜひご検討ください。

関連サービス

Arcstar Universal One

Arcstar Universal Oneはグローバル規模で迅速かつ柔軟に利用できるVPNサービスです。190以上の国/地域で展開。国内拠点と同様、契約から保守、マネジメントまでNTTコミュニケーションズがワンストップで行うので安心です。多彩なアクセスラインナップを用意しており、拠点の重要度に合わせて選択可能。お客さまのグローバルビジネスを支えます。